

## IV 事業概要

### 5 復興支援「るねっ・サイエンス」事業

#### 震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム

【名称】震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム in 仙台「アロサウルスがやってきた！」

【主催】国立科学博物館，全国科学博物館振興財団，仙台市科学館

【会期】平成 26 年 3 月 18 日（火）～ 4 月 20 日（日）

【会場】科学館 エントランスホール

震災復興・国立科学博物館コラボミュージアムは、東日本大震災被災地域の博物館を支援するとともに、被災地域の子どもたちを元気づけることを目的とした事業である。平成 24 年 6 月から国立科学博物館が中心となり被災地域の岩手県、宮城県、福島県の博物館等が連携して、恐竜の化石や標本レスキュー活動を紹介する展示などを行ってきた。仙台市科学館でも、3 月 18 日より、国立科学博物館所蔵のアロサウルスの実物全身骨格化石、ステゴサウルス上腕骨の実物タッチ化石、ティラノサウルス実物大脚パズル、国立科学博物館が震災後に取り組んだ標本レスキュー活動を紹介するパネルを展示した。

展示のメインとなる恐竜アロサウルスは、1964 年に日本で初めて国立科学博物館に展示された恐竜の全身骨格である。ジュラ紀（約 1 億 5 千年前）の時代に生きていた肉食恐竜であり体長は約 7 m もある。子どもたちを中心に多くの来館者の方々が興味を持って実物骨格を見あげたり記念写真を撮る姿が見られた。常設の恐竜化石の展示はない当館にとって、今回のように国立科学博物館や全国科学館振興財団のご協力を得て恐竜を展示できたことは貴重な機会であった。



アロサウルス実物全身骨格化石



アロサウルスの頭部



恐竜の脚パズルとタッチ化石



国立科学博物館の標本レスキュー活動の紹介